

もっと知りたい！！ 宇宙のこと

最新情報はこちらを check!



NAOJ 国立天文台

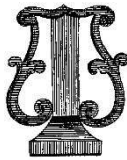
HP: <https://www.nao.ac.jp/>



JAXA 宇宙航空研究開発機構

HP: <https://www.jaxa.jp/>

4月・5月の天文情報



こと座流星群が極大

4月23日にこと座流星群の活動が活発になると予測されています。流星群は22日の夜から活動が活発になり、23日の0時を過ぎると月が沈んで流星群がよく見えるでしょう。月が沈むまでは月の光がまぶしくて見つけづらいので、観察するときは月が沈んでから!と覚えておくといいですよ。



地球から最も遠くなる満月

月のサイズが大きく見えたり小さく見えたり、不思議に思ったことがある人も多いのではないのでしょうか。実は地球や太陽の重力の影響を受けるなど、様々な要因が重なって地球との距離が変化し、結果月の大きさも変化しているように見えるのです。今年地球から最も遠く離れるのが5月31日だとされています。普段の満月と大きさが変わって見えるのか、気にして空を見上げるのもいいかもしれませんね。

星座のあれこれ



こと座

4月に活動が活発になること座流星群ですが、こと座は夏の代表的な星座なのです。

夏の夜、頭上近くに白く輝く星がベガと呼ばれること座の1等星です。このベガを見つげるとこと座を描きやすいので、夏になったらぜひ探してみてくださいね。

月が舞台の映画

ファースト・マン

監督:デイミアン・チャゼル

出版社:NBC ユニバーサル・エンターテイメント



1961年、ニール・アームストロングは宇宙飛行士に選ばれ、ヒューストンの有人宇宙センターで過酷な訓練を受けながら他の飛行士たちとの絆を深めていた。ニールたちは月面着陸を目指し、前人未踏のミッションに挑んでいく。

(TRC MARK より引用)

裏面にもつづきます→

★今月のテーマ「月の魅力」★

人類が最後に月面に降り立ったのは1972年、今から50年以上前になります。現在アルテミス計画という新しい有人月探査計画が進められています。今年の2月にロケットの打ち上げが予定されてましたが、試験の段階で問題が生じたため4月以降の打ち上げに延期されました。

延期したのは残念ですが、人類がふたたび月にたどりつける日が楽しみです。

おすすめの本



夜ふかしするほど面白い「月の話」

出版社:PHP 研究所
著者:寺蘭淳也



地球から最も近い天体にもかかわらず、未解明な部分も多く、謎が尽きない「月」。日食と月の関係、表側と裏側の違い、月に行く費用など、月に関する疑問に Q&A で答える。最新研究も紹介する。



人類はふたたび月を目指す

出版社:光文社
シリーズ:光文社新書
著者:春山純一



いま、様々なプレーヤーが月を目指している。日本の月探査計画に携わり、「月の縦孔の発見」で世界的に知られる著者が、月に関わる探査や発見をめぐるスリリングな舞台裏を綴るとともに、人類が月を目指す理由を問う。



月面フォトアトラス

精細画像で読み解く月の地形と地質
Photographic Atlas of the MOON by Telescope

出版社:誠文堂新光社
著者:白尾元理



月面写真撮影の第一人者が撮影した精細な月面画像を収録。実際に月を観察する際に分かりやすいよう、月齢ごとや月の表側をエリアに分け、月の地形(クレーター、山脈、谷など)の位置を明示。その地名や地形を解説する。

(紹介文はすべて TRC MARK より引用)